

薩摩から日本を変えよう

～薩摩編～

徳川宗家十九代

徳川家広

徳川宗家の
嫡男は
半分薩摩人!?



薩摩を語る

2015.9.26 | SAT |

会場
ホテルパレスイン鹿児島
〒892-0845 鹿児島県市樋之口町8-2

第一部 シンポジウム

受付開始 13:00/開会 13:00
シンポジウム/14:00-17:00

講 演: 徳川家広氏(十九代 徳川宗家)
特別講演: 島津義秀氏(十三代加治木島津家当主)
会費: 大人/1,000円 学生以下/無料

第二部 懇親会

懇親会/18:00-20:30
会費: 5,000円

いえひろ
徳川家広(十九代 徳川宗家)

翻訳家、政治・経済評論家。
1965年2月7日、東京生まれ。
父・徳川恒孝(徳川家18代当主、元日本郵船副社長、徳川記念財団理事長)の仕事の関係で、小学校1年から3年までをアメリカで過ごす。学習院高等科を経て、慶応義塾大学経済学部に進学。ミシガン大学で経済学修士号、コロンビア大学で政治学修士号を取得。国連勤務を経て、現在に至る。著書に『バブルの興亡 日本は破滅の未来を変えられるのか』(講談社)。翻訳書に『ソロスは警告する』『アメリカが中国を選ぶ日』『隣りのナチス』など多数。